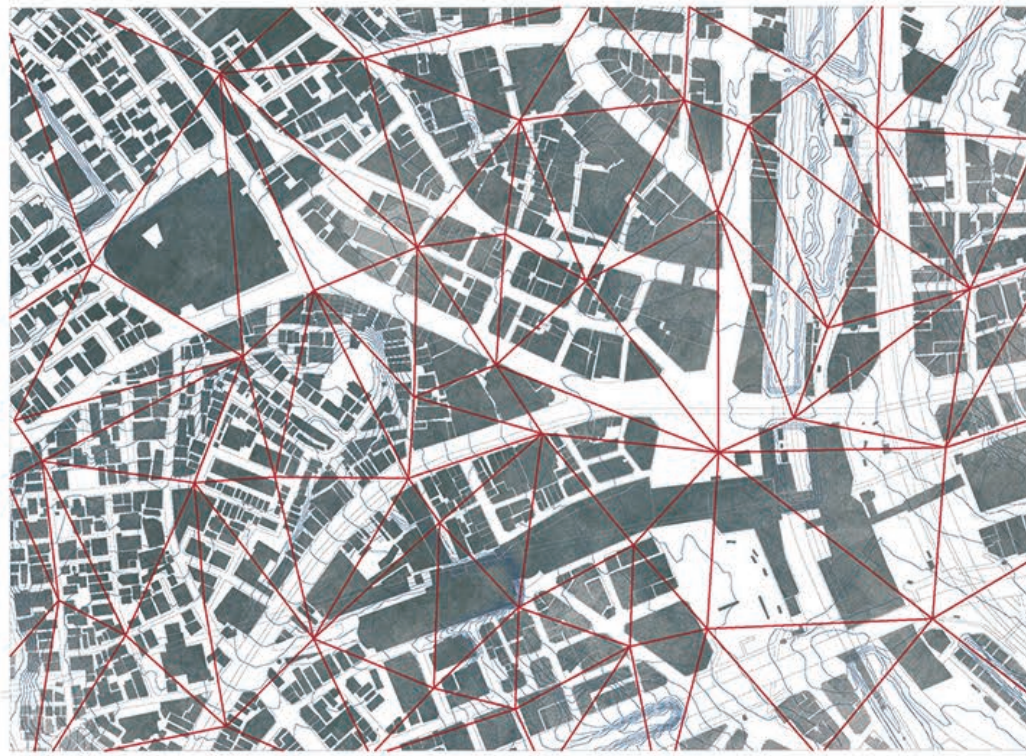




Creepy Narcistecture

生まれたばかりの人間は、世界が自分の欲求通りになっていると思っている(私的幻想)。しかし、次第に思い通りにならないと気づき、私的幻想とは別に自我意識を発達させ、両者の折り合いをつけることで環境に順応し生きていく。私的幻想が強い人は環境や社会に対して微妙に順応していない。そんな少し不気味な彼らの私的幻想を建築化することで、彼らがこのイエに居ない時、建築のオブジェクト自体が半自立的に存在し(建築の私的幻想が強まる)、都市を行き交う人に不気味なモノとして発見される。

これらは点在することで人々に不気味な人・モノによるシーケンスを生み出し、都市・建築へのリテラシーを高めるためのきっかけとなる。

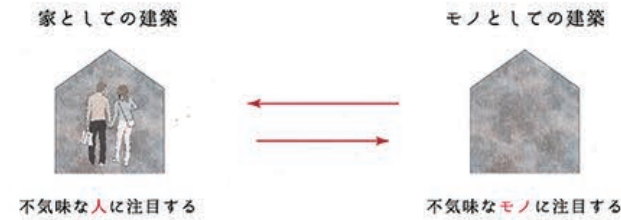
01. 私的幻想と自我意識

生まれたばかりの人間は、世界が自分の欲求通りになっていると思っている(私的幻想)。しかし、次第に思い通りにならないと気づき、私的幻想とは別に自我意識を発達させ、両者の折り合いをつけることで環境に順応し生きていく。岸田秀『ものぐさ精神分析』私的幻想とは、人間のナルシスティックな欲求の根源と考えられており、その自己愛に着目する。



02. 不気味な人とモノ

私的幻想が強い人は環境や社会に対して微妙に順応していない。そんな少し不気味な彼らの私的幻想を建築化することで、都市・建築へのリテラシーを高めることを目標とする。彼らのイエに滞在性はない。彼らが居ない時、建築のオブジェクト自体が半自立的に存在し(建築の私的幻想が強まる)、都市を行き交う人に不気味なモノとして発見される。



03. 私的幻想のマチ『渋谷』

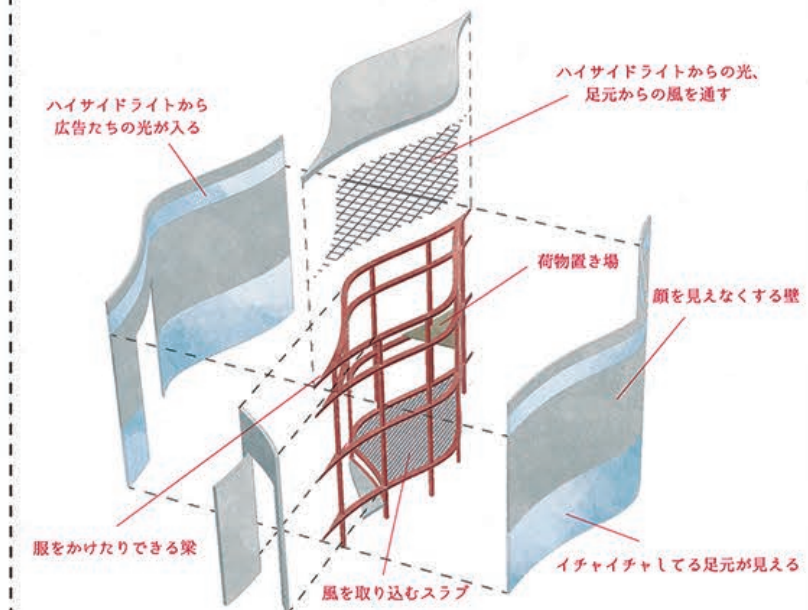
渋谷には、私的幻想が強い人がたくさん出現する。駅前イチャイチャ、歩きタバコ、ナンパ、どんちゃん騒ぎ、ケンカ、、、さらに、渋谷では私的幻想そのものが環境・社会を生み出す場所でもある。ハロウィン、年越し、サッカー日本代表の渋谷はまさにそれである。

そんな私的幻想のマチ『渋谷』を敷地として、4タイプの人のイエを設計した。



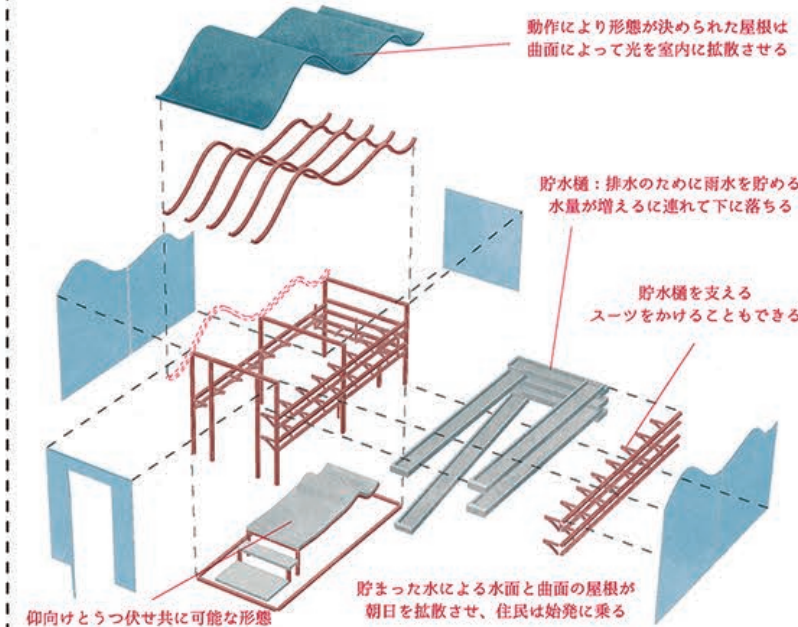
駅前イチャイチャカップル

終電や門限に間に合うギリギリまでイチャイチャをする。ハグとキスをその時間まで果てしなく続ける彼らは、駅付近に夕方から夜出現する。2人の世界に入っている彼らの空間をそのまま建築化する。



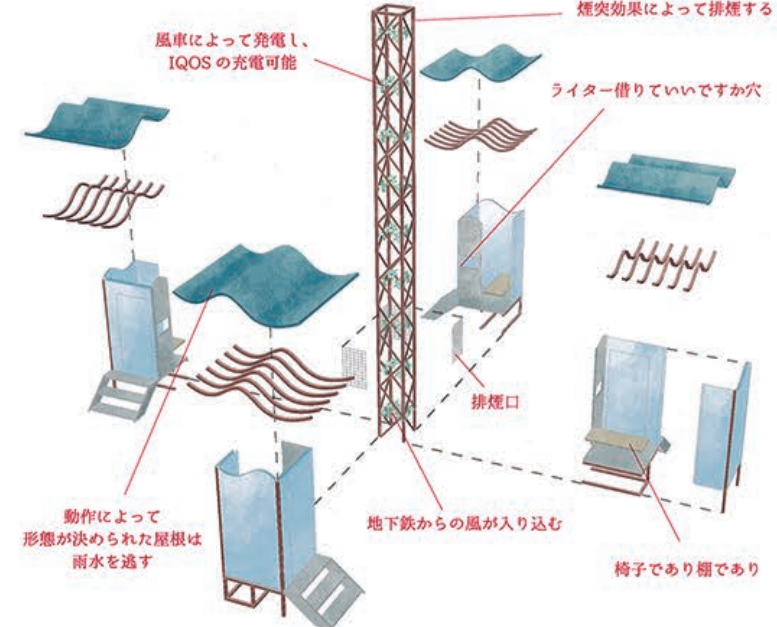
酔い潰れサラリーマン

センター街周辺などに終電後出現する。彼らは帰る術を失い、寝て吐いてを繰り返して始発で帰る。吐いたものは貯水罐の水で排水する。曲面の屋根や水盤で朝日が拡散し、眩しくて起床する。



裏道スモーカー

人のいる通りから一本入った道にいたる彼らは夕方から深夜にかけて出現する。タバコを煙や彼らの行動から建築をつくっていく。これは裏道スモーカーの集合住宅である。



ストリートナンパ勢

道玄坂など人のいる大通りに夕方から夜中にかけて出現する。彼らはナンパが成功するまで同じ場所をクルクルする。可愛い子を見つけ、話しかけ、断られ、元に戻り可愛い子を探し、、、

